



村は今も続く

そのむかし砦村というのが、あったのだろう。
行政の区画での村は、とくにこの辺りにはない。
今はもう遠くの田舎にいかないと、行政が決めた村はない、そんな時代。

でも“村”という言葉は、今も健在。ヒトが使う 村 という言葉の意味は？
それは辞書やネットで検索すれば、だいぶ分かる。
そもそも言葉には複数の意味がある。村で伝えたい意味には次のものがあると書かれていた。

- 1 行政での管理単位。
- 2 農業・林業・漁業などを営む人々が形成する集落。人家が集まっている所。むら里。村落。
- 3 人々の集まっている所。「選手ムラ」「テントムラ」「ムラ社会」

つまり村とは、集まって暮らしている所の意味合いですね。
ところで、農は原点です。
畑という場が、あると ヒトは集まれる。
(農業ではなく農です。)

集まると ムラ が生まれる？

農には、収穫や雑草取りとか麦踏みや片付け、土作りなど様々な仕事があって人が掛かり易い。
他の工業や商業などの産業は高度化していった。
複雑になっていき、間接ばかり、人間関係も難しくなっている、それが今の現代です。
行き詰まったり、こんがらかったりした人が増えることになっている、それも現代。

農であるなら、昔ながらの方式でもよく、ヒトも参加して集まりやすくもできる。

人生に行き詰まったら、畑に触れると良いかもしれない。

多くのヒトは、こころの奥で畑を欲しているのだと思う、でもそのチャンスはなかなか来ない。

ヒトの社会は豊かになったのだろうか、小さな核家族とか、個が大切にされ優遇されていく社会の変化。

一方でヒトの社会にずっとありつづけていた村のような地域に根ざす家族にも似た付き合いを、失ってしまった。

はたけ があると、人は集まれる、それを私達は体験できました。

原点に立ち返ってみると、きっと何かに気が付くはずです。

それは、とても価値ある体験でした。

喜多見5丁目や岩戸南の畑を、農家さんから使わせてもらいました。

細かいことは抜きにしてお互い顔を見て、会話もし、いろんなことを一緒に体験し、出来たものを分けたり、一緒に食べたりして、ちょっとした家族みたいな仲間になれる。

畑を使うことを許してもらい、仲間が集まって体験できたことは、ほんとうにありがたい。

また、最近、畑の進化したバージョンが増えているのも現代です。

千歳台の2丁目にはコミュニティ農園という名称がついている畑があります。

そこは単なる貸農園ではなく市民が集まって畑があることの価値を共有できる運営。

野菜づくりがあり、それ以上の体験ができる畑です。

(わたしも参加しています)

このコミュニティという言葉、きっと日本語の“村”に近い意味合いなのだろう。

しばしばドキュメンタリー映画が生まれる等々力の大平農園は大勢のボランティアさん達で運営されている。

タマリバタケという農園が二子あります。ヒトが集まって溜まっているのかもしれない。

都会の農は、市民が村（コミュニティ）の人間関係を取り戻す場の役割も担っていくのだろう。

これは時代の要請なのだと思う。

消えてしまった村は、今も、はたけを通じて、続いていく。



(記：田島文一 2024年5月28日)

細長アキチの日々 その2

5月に入り日中暑い日が続きますが日が暮れると寒くなるような日が続いています。先月細長アキチで種まきした苗ですが順調に大きくなってくれました。

その内、藍染の藍、綿、トウモロコシ、小豆、スズメ瓜、日本ハッカ等をてづくり市場で販売しました。

前回の苗は1つ50円で売ったのですが安すぎるという意見が出たので今回は100円と150円の値を付けて売ってみました。

そしたらそれぞれ

100円苗藍 3つ、トウモロコシ 2つ

150円苗綿 3つ、小豆 2つ、日本ハッカ 3つ、
スズメ瓜 1つ

合計1850円、売上げました(笑)

細長アキチは沢山の野菜を栽培出来るほど土地が無いので種や挿し木で苗を作って売っていきたいと思います。

今月に入って3番目に
銀色マルチで畝を作り
四葉キュウリ 2本と
バターナッツ(カボチャ)
1本を植えました。

四葉キュウリはゴジラのようにゴツゴツしたキュウリで見た目に反して皮が薄くパッキリとした食感で美味しいキュウリです。名札にヘチマのバターナッツは形がちょっとヒョウタンに似ているカボチャでカボチャの中では一番育てやすいカボチャです。



株間を1m取っているので株の間に余った苗の水菜、枝豆、リーフレタス、ロメインレタスを植えました。

それ以外にフェルトプランターにお手伝いしてくれている方のリクエストで春ウコンを植えました。
ショウガに似た苗できれいで香りのいい花が咲くそうです楽しみです。

知り合いからヒョウタンの苗があるのでビニール袋に入れて細長アキチに置いておくご連絡がありました。

未熟の青い内は食べられると言うのでたのしみに細長アキチに向かいビニール袋を開けると苗に付いていた名札にヘチマの文字が……。

どこかで間違いがあったようでヘチマが届きました。

ヒョウタンが食べられると楽しみにしていたのですが手伝ってくれている方がヘチマも沖縄では未熟の実を豚の三枚肉と一緒に味噌で煮るととても美味しいと教えてくれてホットしました。

ちなみに後で調べて見たのですがヒョウタンは食用になる品種はほんの少力で殆どが観賞用で食べると嘔吐や下痢の症状を引き起こすので絶対に食べないで下さい。

細長アキチにはお茶になる野草やハーブが何種類かあります。

ハッカ、オレンジミント、スイートバジル、ホーリーバジル、ヨモギ、レモングラス等です。

その中でオススメの飲み物をご紹介します。

ハッカのアイ스티

急須にティーパックを2つとなるべく多くのハッカを最低でも半分位まで入れて熱湯をホットなら300gアイスなら150g2分置いてから氷をギッシリ入れた容器に注いで出来上がりです。

ハーブと氷はけちらずにガッツリ入れるのがコツです。

ミントやハッカはレモンと相性がいいので急須に輪切りのレモンやレモングラスを入れるとさらに美味しいですよ。

(いつも計量器で計っているのでml表記ではなくグラム表記にしました。)

スイートバジルのモヒート

グラスにちぎったバジルを半分以上入れて氷をギッシリ詰めて炭酸水やサイダーを注いで飲みます。

飲むと喉の奥から香りが鼻に抜けていってとても美味しいです。

細長アキチに遊びに来ていただければご馳走しますので是非飲みに来て下さい。

(記 : どんちゃん 2024年5月28日)

てづくり市場を応援してくれている友人の話

みなさまこんにちは。先月までで、私がてづくり市場に初めて関わった時から今までをひととおり振り返りました。今回は、市場の掲示物を担当してくれている友人のことを書こうと思います。

写真に写っている、「だいこん」「210えん」「おすすめ」などのポップや、「みなさまへ」ではじまる運営協力金のご案内は、私の友人のKさんが書いてくれています。もともとは、私が出展者として市場にでている「陸前高田応援団」を始めたころ、私が書いた手書きの値札を見て、（私には残念ながらこの方面にあまりセンスがなかった）、見かねて声をかけてくれたのが始まりです。Kさんのおかげで、陸前高田応援団の店頭は、商品名や価格がとても見やすい店舗になりました。



KさんはPOPのデザインの勉強をしていた方で、ご自宅の近所の野菜直売場へPOPを作って寄贈した経験があるとのこと。てづくり市場からのリクエストに応じて、とても見やすく、親しみやすいデザインのPOPをすぐに作ってくれました。市場の野菜売り場は月によっていろいろな方が関わりますが、その月の担当の方がこのKさんのPOPを店頭に使ってくださっているのを見るたびに、私はとてもうれしくなります。



市場の運営を検討していく中で、10円の運営協力金をお客様からいただくことになり、ご来場のお客様にそのことを伝えることになった時、私はこの案内をKさんに作ってもらおうと思いつきました。もちろん、野菜を売るメンバーも口頭で伝えていくのですが、わかりやすい掲示があればより伝わりやすいかなと思ったのです。Kさんはその時も快諾してくださり、ひとつひとつ手作りで手間のかかる掲示物を2枚も、すぐに作ってくれました。

こんなKさんは私にとって本当にありがたい友人で、いつも心から感謝しています。と同時に、彼女の才能を埋もれさせておくのはもったいない、Kさんの作品を世の中に出していきたいという私の想いもてづくり市場で実現できているので、そういう意味でもKさんのPOPや掲示が市場の役に立っていることが私はとてもうれしいです。

手づくり市場を構成する方々として、野菜を提供してくださる農家さん、市場を盛り上げる出展者、ご来場くださるお客さま、ボランティアの方々、そして場所を快く使わせてくださっている慶元寺さま、さいごに運営メンバー、があげられます。しかし、実はそれ以外にも、物品の寄付や市場の宣伝など、いろいろな形で市場を支えてくださっている方がいらっしゃいます。運営メンバーの一人として、そのことをいつも忘れないでいたいと思います。

(記：小堤明子 2024年5月27日)

農とみどりオフィシャルサイトにぜひおいでください！

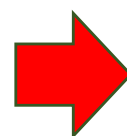
「農とみどり」のオフィシャルサイトができました。

URLは以下です。

<https://www.nou-midori.org/>

ぜひ、ごらんください。

スマホからは、右のQRコードから
簡単にアクセスできます。



農とみどり 6月 活動 予定

6/16 てづくり市場
強風に注意！
暑さに 要注意 ！

6/10 野の花保育園でのマルシェ
(第2月曜) 主なお客様は下校中の小学生、関屋さんが運営

2024 **6/16(日)**
やります！
第3日曜日です

9:30 ~ 12:00
慶元寺駐車場

てづくり市場
マイバック
ご持参ください!!
ゴミ減らす

地元で採れたお野菜を販売します

宇奈根・喜多見・狛江 辺りの仲間
百水川神社
ゆっくりしていいね
お茶 できます
お慶元寺
喜多見中学校
会場
駐車場

地元野菜を楽しみ、
農家さんに感謝する
いろんなお店 歓迎します
採りたて野菜、他に
てづくりプリン、小物、リサイクル品、
陸前高田の産物、10分間整体
などお店は状況で変わります

お気軽に立ちよください
幼稚園のとなり クルマでも大丈夫

私たちは、この地の畑を大切に考え、農の継続を願い、保育園行事や慶元寺での
野菜販売(市民の市場)/農に係る映画上映会/畑の手伝い などを行っています

協賛
NPO せたがや
喜多見農とみどり

主催 **テツクリはたけの会**
事務局(出竹・田島) : 090-6159-2693

毎月 第2月曜は…喜多見野の花保育園の前
のの花・ミニマルシェ

6月10日(月) ※次回は7月8日(月)
15:30~18:00
※小雨決行・荒天中止。雨天時は問合せ下さい。
のの花ほいくえん(郵便局となり)
喜多見3丁目 21-22

てづくり市場
6月16日(日)
9:30-12:00
慶元寺の駐車場
あそびに来てね!!

プリン屋ほほえみキッチン
食べたらほっこり笑顔になる
ほほえみプリン
2024
喜多見みやげに
夏はこれだ!!

立丹(りったん)
ハンドメイドアクセサリー&雑貨

陸前高田産物
陸前高田産 米納りんごジュースほか

喜多見地元野菜販売
地元の農家の季節の野菜や果物

主催：プリン屋ほほえみキッチン
陸前高田産物
お問合せ：関屋 (090-9145-8613)

6 月予定

2024 6月						
SUN	MON	TUES	WED	THU	FRI	SAT
						1 9時半 小澤農園 10時 細長アキチ
2	3	4	5	6	7	8 9時半 小澤農園 10時 細長アキチ
9 10時 そら豆マル シェ	10 15時 野の花 マルシェ	11	12	13	14	15 9時半 小澤農園
16 9時半 てづくり市場	17	18	19	20	21	22 9時半 小澤農園 10時 細長アキチ
23	24	25	26	27	28	29 9時半 小澤農園 10時 細長アキチ
30						

ご不明な点や、ご意見ご希望はなんなりと、このメールアドレスにお願いします。

Copyright © 2023 せたがや喜多見農とみどり, All rights reserved.

メールアドレス: tezukuri.hatake@gmail.com

喜多見4-9-7 世田谷区, 東京都 157-0057